



学校だより



千葉市立
みつわ台北小学校
6月号
(R7年5月30日)

学ぶよろこびのある学校を目指して

校長 池内 哲夫

廊下からにぎやかな声が聞こえてきました。1年生が学校探検を行っていました。学校探検は、学校施設の様子や学校生活を支えている人たちの働きについて学び、楽しく安全に遊んだり、生活したりする力を身につけることをねらいとしています。入学直後には学校生活に戸惑う様子も見られた1年生ですが、入学して2カ月経ち、学校生活にも慣れて、楽しく伸び伸びと過ごしています。その姿を見ると「学校は友達と一緒に学んだり、学習したりすることを通して、大きく成長する場であること」を改めて感じます。

学校探検では、2年生が1年生を案内しました。2年生は、この日のために案内する場所の決定や司会進行の練習、原稿づくりなど熱心に取り組みました。紹介する「おすすめの場所」を話し合い、場所が決まると前もって場所の下見を行うなどの積極的な姿が見られました。

本番当日、2年生の子どもたちは、張り切って案内しました。その姿は、とても立派でした。学校探検を通して一つのことをみんなで協力してやり遂げた充実感を味わっていました。

学校探検後、1年生では、気づいたことを整理し、大きなマップにまとめ、友達と伝え合いました。この活動を通して、学校に対する愛着がさらに深まったようでした。

4年生で班の中で話し合う姿が見られました。算数の「角とその大きさ」の学習で「 180° を超える角の大きさの求め方」について考えていました。どのような方法で求めることができるか自分の考え方や測り方を話し合っていました。「分度器2つ使う?」「 180° の線を引いて、残りを分度器で測るとわかるよ」「 360° からひき算する方法もあるよ」「どうやるの?」「同じ考えだった」などの声が聞こえてきました。話し合いの後、図に補助線を引いたり、分度器で測れた角度を書き込んだりして、角の大きさを計算で求めました。

みつわ台北小学校では、学び合うことを通して、学びが深まる楽しさや友達と関わり合う喜びを味わうことを大切にしています。そうすることで、学ぶ力や協働する力を養うことにつながると考えています。

写真

写真

写真

写真